

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(3月30日～4月5日)

2019年4月8日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- 副首相、農業相ほかの人事を決定(4/1-4)
- 沈跃跃中国全国人民代表大会常務委員会副委員長のベラルーシ来訪(4/3)
- クロパティにおける十字架撤去の動き(4/4, 5)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

●更迭した元副首相、元農業相らの人事を発表

ザヤツ前農業・食糧大臣をモギリョフ州執行委員会の議長(州知事相当)に、ルーシ前副首相を大統領補佐官兼モギリョフ州監査官に任命。

大統領は「これは命令だ。両名とも、モギリョフ州に行って、同地に鉄の秩序をもたらし、私に報告しなさい。私は毎月モギリョフにあなた方を訪問するつもりだ。」と発言。

(4/1 大統領公式サイト、ベラパン通信ほか)

●空席となっていた副首相、農業相の人事を発表

- ・2日、アナトリー・ホチコを農業・食糧大臣に任命。
- ・2日、(モギリョフ州)シュクロフ地区執行委員会委員長(区長相当)にアレクサンドル・チトクを任命することに同意。同人の前職は非常事態省チェルノブイリ原発事故影響解消局長。

- ・4日、ウラジーミル・ドヴォルニクを農業担当副首相に任命。同人の前職はゴメリ州執行委員会委員長(州知事相当)

(4/1,4 大統領公式サイト)

●サイディク三者コンタクト・グループ OSCE 特別代表との会談(3/28, 29)

- ・ルカシェンコ大統領発言要旨:

ベラルーシはウクライナにおける平和のために最大限の力を尽くす用意がある。

- ・サイディク特別代表発言要旨:

ベラルーシの長年の協力に感謝し、その理解と忍

耐を高く評価。紛争が長く続き過ぎていることは遺憾。

(4/1 大統領公式サイト)

●メドヴェチュク・ウクライナの政党「野党プラットフォームー命のために」の政治評議会議長との会談(4/3)

ルカシェンコ大統領は、「ウクライナでの大きな政治的出来事(大統領選挙)の後でお会いでき、貴殿の評価や展望を聞いたことは喜ばしい」旨発言。

メドゥヴェチュク氏は、3月1日に行われたルカシェンコ大統領とメディアとの対話集会で「ル」大統領が決選投票にはポロシェンコ氏とゼレンスキー氏が進むと予言していた模様を見た述べ、「ル」大統領と会う前に、4月21日の決選投票の勝者を教えてもらえる好機に恵まれたと冗談めかして言われていた旨述べた。

(4/4 大統領公式サイト、国営ベルタ通信)

【内政】

●欧州評議会の汚職との戦いに関する国家グループ(GRECO)が創設以来20年間で初めてベラルーシを批判する宣言を発表。(4/3)

GRECO は、これまでどの国にもこうした宣言を出すことはなかったことに言及しつつ、2012年にベラルーシ当局に24項目の汚職との戦いに関する勧告を出したが、うち20項目が実行されていないと指摘。なお、ベラルーシは欧州評議会の47の国とともにGRECO加盟国でもある。

(3/19 ベラパン通信)

●クロパティにおける十字架撤去の動き(4/4, 5)

・4 日, 何者かによりクロパティ地区に設置されていた 70 台の十字架の撤去作業が開始された。同日夕刻, 市民 100 名以上がクロパティに集まって祈りを捧げた。

・5 日, 活動家のセヴィリネツ氏やダシュケヴィチ氏らが十字架撤去作業を妨害しようとしたとして, 身柄を拘束された。

(4/4, 5 ベラパン通信)

【外交】

●ゴシュケーヴィチ初代帝政ロシア駐日領事の胸像が函館に設置

帝政ロシアのミンスク県出身の「ゴ」の胸像は函館の文化センターに設置された。3 月 29 日に実施された除幕式にはイエシン駐日ベラルーシ大使, ロシアの外交官, 正教会の地区主任司祭, 極東連邦大学関係者が参加した。

(4/1 国営ベルタ通信)

●春の議会会期開会式典におけるアンドレイチェンコ下院議長の発言要旨(4/2)

・ベラルーシは西側と東側を結びつけることに極めて強い関心。

・ベラルーシの国会議員は, 国際場裏, 特に OSCE の議員総会で, 「統合(機構)の統合」というアイデアを推進していく意向。

(4/2 ベラパン通信)

●内務省は, ロシアとの相互ビザ認証に関する合意文書は本年中でも署名・発行と期待

同合意文書案は, すでにルカシェンコ大統領の決裁に上げられている模様。

(4/2 ベラパン通信)

●アントニオーネ中央ヨーロッパ・イニシアティブ事務総長のベラルーシ訪問(4/3)

3 日, マケイ外相と会談(詳細は公表されず)。同日, ベラルーシ外務省内で CEI と EU の技術援助の誘致

に関する情報セミナーが開催された。「ア」事務総長はこの他, 議会上院議員, ベラルーシ商工会義所幹部と会談。

なお, 中央ヨーロッパ・イニシアティブ(CEI)は, 欧州の統合と地域協力のために 1989 年創設の地域連合。現在は 17 か国が加盟。ベラルーシは 1996 年に加盟し, 2017 年には議長国を務めた。

(4/3 外務省公式サイトほか)

●沈跃跃中国全国人民代表大会常務委員会副委員長のベラルーシ来訪(4/3)

ピルシュトク・ベラルーシ議会下院副議長とともにベラルーシ対外友好文化関係協会での行事に出席。

(4/3 国営ベルタ通信)

・沈副委員長発言要旨

「両国はともに, 困難や痛み直面したが, 今日では首尾よい発展に尽力している。」

・発言要旨ピルシュトク副議長発言要旨

「経済発展に新たな地平を開き, すでに具体的成果をもたらしている『一帯一路』への関与は, 国民の福祉と生活の質向上を左右する」

ルマス首相との会談(4/3 ベラパン通信)

ルマス首相は「ベラルーシ・中国産業特区『巨石』は, ミンスクのテクノロジー衛星都市に変貌しつつある。」と指摘。

●チャプトヴィチ・ポーランド外相がクロパティにおける十字架撤去を非難

5 日, 同外相は, 撤去作業にベラルーシ当局が関与していたとすれば, それは悪い兆候だと指摘。国家はスターリン体制による死と犠牲について覚えていなければならないと述べた。

(4/5 ベラパン通信)

【経済】

【国内経済】

●ミャスニコヴィチ上院議長がベラス社の監査評議会議長に就任

(4/4 国営ベルタ通信)

【対外経済】

●露が上限 6 億ドルの対ベラルーシ再融資を決定

2 日、シリアノフ露第一副首相兼財相がプーチン露大統領の決定として発表。「シ」財相また、4 月末までにユーラシア安定化発展基金のトランシュ 2 億ドルをベラルーシが受領可能と述べた(後に 6 月末までに期限を繰り下げ)。同基金からの融資に関する協定は 2016 年 3 月 25 日に署名され、経済政策並びにベラルーシ政府と中央銀行の構造改革のため 20 億ドルの融資を予定している。これまでに供与された融資は以下のとおり。

第 1 トランシュ: 5 億ドル 2016 年 3 月

第 2 トランシュ: 3 億ドル 2016 年 7 月

第 3 トランシュ: 3 億ドル 2017 年 4 月

第 4 トランシュ: 3 億ドル 2017 年 6 月

第 5 トランシュ: 2 億ドル 2017 年 10 月

第 6 トランシュ: 2 億ドル 2018 年 10 月

(4/2 ベラパン通信)

●リャシェンコ副首相一行の浙江省訪問(3/28, 29)

リャシェンコ副首相を団長とした一行が浙江省を訪問。訪問の目的は、電気利用の交通機関に関する中国の経験を学ぶこと。ベラルーシ・中国合弁自動車企業「ベルジ」の社長代行を務めるスヴィデルスキー産業省第一次官、マツェリ在上海ベラルーシ総領事、デンガレフ・ボリスフ地区執行委員会議長、国営自動車会社「ベラス」幹部らが同行。現地の工場や研究所を視察し、Geely の電気自動車の試乗も行った。

(4/1 国営ベルタ通信)

【軍事・治安】

●5 月 15 日から 18 日まで、兵器・軍用技術展示会「MILEX-2019」がミンスクアリーナで開催

軍需産業国家委員会によると、同展示会では、国産の拳銃と狙撃用ライフルの新モデルが展示予定。

(4/3 ベラパン通信)

(了)